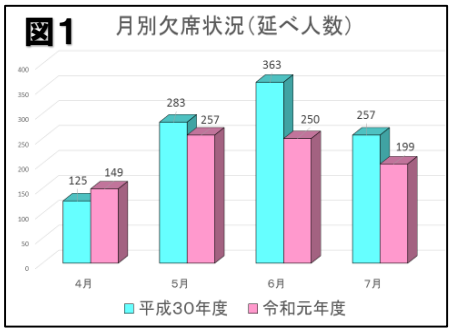
じょうがくつうしん
城岳通信

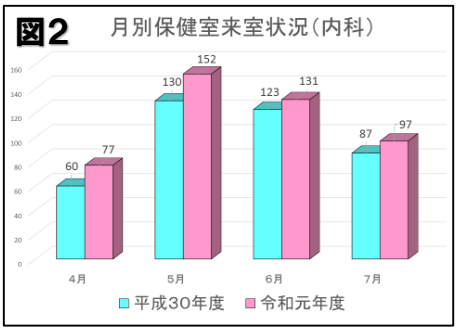
夏休み号③
令和元年８月15日（木）
発行者：校長　宮里 寿子

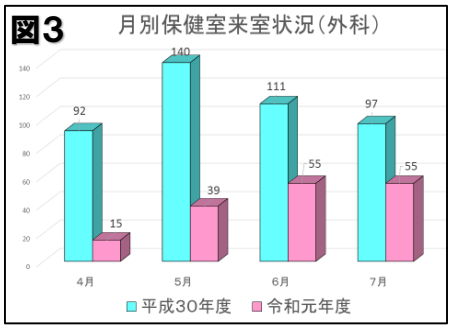
城岳小・学校保健委員会開催

夏休み期間中の７月 30 日（火）に、本校保健室にて、「令和元年度 第１回 学校保健委員会」が開催されました。学校保健委員会とは、学校長、教頭、教務主任、養護教諭、生徒指導主任、安全主任、体育主任、環境整備主任、給食主任、PTA 会長、PTA 副会長、PTA 保健体育部長等の他、学校三医（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）が参加し、学校及び家庭生活における保健、安全上の諸問題について審議し、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することが目的とされ、年２回開催されています。

当日は、養護教諭から本校児童の健康状態について報告がありました。身体計測の結果から、肥満傾向の出現率として、男子が２・３・６年、女子では２・３・５年が県・全国平均を上回ること、**歯科検診結果から「う歯なし」児童は男女とも県を上回っているが、前年度に比べ、う歯なし児童が 5.7%減り、未処置者が 4%と増えており、未処置歯がある児童で、結果通知後治療にいった児童は６人（7/19 現在）**との報告に、学校歯科医の崎山先生から「学校側からの積極的な受診の呼びかけ」の助言を頂きました。夏休み明け、未処置歯のある児童へ再度、治療勧告を行っていきたいと思います。その他にも、欠席、保健室来室状況も報告されました。昨年度と比較すると、**欠席者数（延べ人数）が約 100 名減少**しており、その内訳が「登校しぶり」の減少であること、昨年度は月を追う毎に増加した欠席者数が横ばい状態であること（図１参照）、保健室来室について、前年度の同じ時期に比べ 219 件減の 621 件で、内訳としては内科 457 件（前年度 400 件）と微増（図２）であるが、**外科 164 件（前年度 440 件）と、ケガでの来室が大幅減少（図３）**していることが報告されました。生徒指導部からは、時間のけじめがついたことで、早登校の増加、授業遅刻が減少、また、児童同士のトラブル等の減少が報告されました。昨年は休み時間でのトラブルからケガに繋がっていましたが、児童同士のケンカやトラブルが減り、ケガでの保健室来室が減少、また、登校しぶりの減少に繋がっているのではないかと考察しました。その他にも、２校時休み時間を 15 分から 20 分に延長し、児童が思いっきり体を動かし発散させることで、トラブルや授業遅刻も減ったのでは、との意見も出ました。体育主任からは体力テストを受けるにあたり、「昨年の記録を超えること」と目標を明確にすることで、暫定的ではあるが、96 項目（８種目×男女×6 学年）中、全国比で 13 項目（昨年）から 47 項目（上体起こし、長座前屈、20M シャトルラン、50M 走等）が上回ったとの報告がありました。







最後は、学校医の山城千秋先生からは「学校の先生方は情熱を持ってやっていることが分かった。あと、インフルエンザは以前と違い通年であるので、手洗い、うがいの継続指導を行ってほしい」、学校歯科医の崎山哲弘先生からは「生徒指導面、体力面での成果が伺えた。休み時間の延長の話は興味深かった。ただ、タブレット端末等の影響か？低学年の視力低下が気になる。」と助言を頂き、大変有意義な会となりました。今後の保健指導等にいかしていきます。